

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号

特許第7002138号

(P7002138)

(45)発行日 令和4年1月20日(2022.1.20)

(24)登録日 令和4年1月4日(2022.1.4)

(51)国際特許分類

A 4 7 G 21/00 (2006.01)

F I

A 4 7 G 21/00

E

請求項の数 1 (全5頁)

(21)出願番号 特願2019-128959(P2019-128959)
(22)出願日 令和1年7月11日(2019.7.11)
(65)公開番号 特開2021-13487(P2021-13487A)
(43)公開日 令和3年2月12日(2021.2.12)
審査請求日 令和1年10月8日(2019.10.8)

(73)特許権者 519253188
福田 真之
東京都大田区西六郷 1 丁目 3 6 番
(74)代理人 100105131
弁理士 井上 満
(72)発明者 福田 真之
東京都大田区西六郷 1 丁目 3 6 番
審査官 関口 知寿

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 ペースト状食品塗布具

(57)【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転軸の周りで回転可能なローラーと、
前記ローラーの表面に形成された複数の突起を有し、パンにバターを塗布するためのバター塗布具であって、
前記ローラーの表面がアルミニウム、前記突起がシリコンで形成されており、
前記ローラーは、アルミニウムの前記表面の内側に樹脂製の内層を有する、バター塗布具。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、食パンなどのパン、ホットケーキ、パンケーキ、ピザ生地などの食材にペースト状食品を塗布するための器具に関する。ペースト状食品は、バターやジャムやマーガリン等である。

【背景技術】

【0002】

バター等の塗布には、特許文献1, 2のようなへら形状のバター塗布具が使用されている。へら形状のバター塗布具は、バターを塗布するのが容易でない。例えば、バターを均一に塗布するのが難しく、及び/又は、十分な量のバターを塗布するのが難しい。

【先行技術文献】

【特許文献】

【 0 0 0 3 】

【文献】特開 2 0 1 8 - 3 3 8 9 8 号公報

実用新案登録第 3 1 9 8 3 1 5 号

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 4 】

本発明は、ペースト状食品を容易に塗布できるペースト状食品塗布具を提供する。例えば、ペースト状食品を容易に均一に塗布することができ、及び／又は、十分な量のペースト状食品を容易に塗布することができるペースト状食品塗布具を提供する。

【課題を解決するための手段】

10

【 0 0 0 5 】

本願には、軸芯の周りで回転可能なローラーと、前記ローラーの表面に形成された複数の突起を有するペースト状食品塗布具が開示される。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 6 】

【図 1】本発明のバター塗布具を示す。

【図 2】ローラーの部分の断面図を示す。

【図 3】他の形態のローラーの部分の断面図を示す。突起 1 3 は図示省略した。

【図 4】他の実施形態のバター塗布具を示す。

【図 5】他の実施形態のバター塗布具を示す。

20

【発明を実施するための形態】

【 0 0 0 7 】

本発明のペースト状食品塗布具の一例として、食パン等へのバター塗布に使用できるバター塗布具 1 0 を説明する。

【 0 0 0 8 】

バター塗布具 1 0 は、回転軸 1 1 の周り円筒形状のローラー 1 2 と、ローラー 1 2 の表面に形成された複数の突起 1 3 を有する。バター塗布具 1 0 は、さらに、柄 1 4 と、柄 1 4 と回転軸 1 1 を連結する連結部 1 5 を有する。柄 1 4 及び連結部 1 5 は、アルミ、ステンレス又はプラスチック等で形成できる。

【 0 0 0 9 】

30

ローラー 1 2 は、アルミで形成するとよい。図 3 のように、ローラー 1 2 の表面だけをアルミとし、内周側は樹脂等他の素材で形成してもよい。突起 1 3 は、シリコン（例えば、硬質シリコン）で形成するとよい。突起 1 3 は、図 1 のように、回転軸 1 1 と同方向に延びる蒲鉾形状にするとよい。

【 0 0 1 0 】

図 4 , 5 に示すように、突起 1 3 は、イボイボ状（半球状）や針状にすることができ、柄 1 4 の先端は、バターナイフのような形状（例えば、へら形状）にして、ペースト状、バター状、半固形状のものをすくうことができるようにするとよい。

【 0 0 1 1 】

バターの上でローラー 1 2 を転がすと、十分な量のバターがローラー 1 2 の上に均一に付着する。食パンの上でローラー 1 2 を転がすことで、バターを均一に塗布できる。

40

【符号の説明】

【 0 0 1 2 】

1 0 バター塗布具

1 1 回転軸

1 2 ローラー

1 3 突起

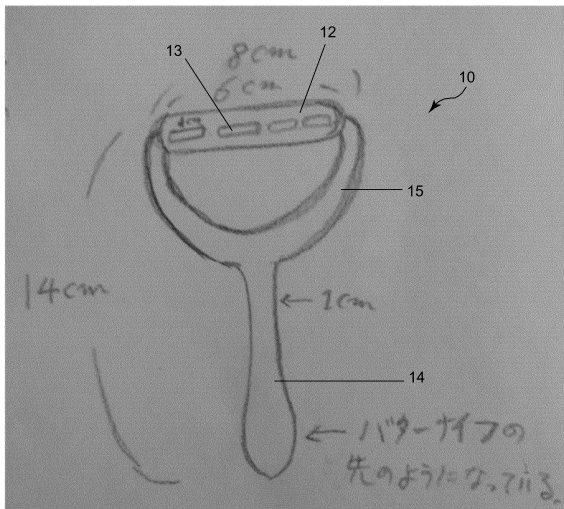
1 4 柄

1 5 連結部

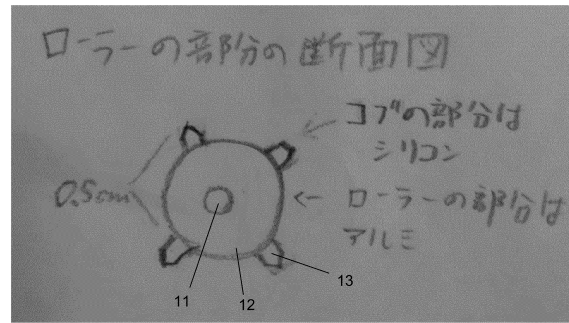
50

【図面】

【図 1】

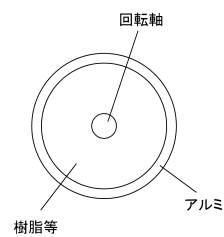


【図 2】

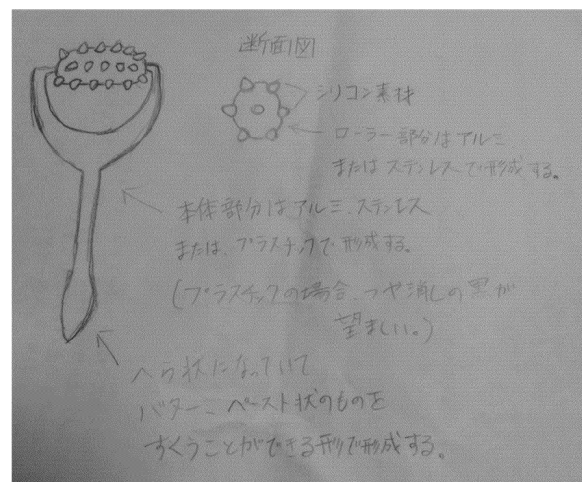


10

【図 3】



【図 4】



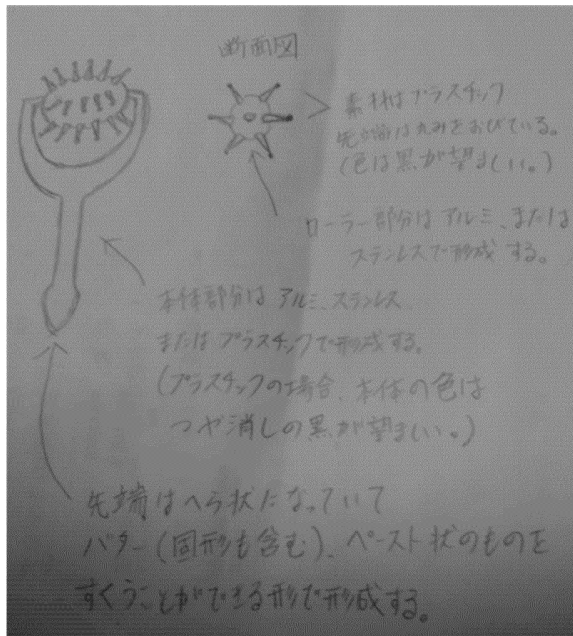
20

30

40

50

【図 5】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

- (56)参考文献 実開昭 4 9 - 0 9 6 2 8 1 (J P , U)
韓国公開実用新案第 2 0 - 2 0 1 7 - 0 0 0 1 9 1 4 (K R , U)
特開平 1 1 - 1 8 7 9 8 0 (J P , A)
登録実用新案第 3 1 2 2 3 1 9 (J P , U)
特開 2 0 1 3 - 0 3 9 3 3 1 (J P , A)
特開 2 0 0 3 - 1 2 5 9 5 2 (J P , A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl. , D B 名)
A 4 7 G 2 1 / 0 0
A 4 7 J 4 3 / 2 8